

第3 壊滅的被害を及ぼす高潮・高波

○ 浸水家屋4万戸を超える大規模高潮災害(H16 台風 16 号)

香川、岡山、広島県を中心に 44,000 戸が浸水。高松市では都市機能が麻痺。



(広島県東広島市)



(香川県高松市)

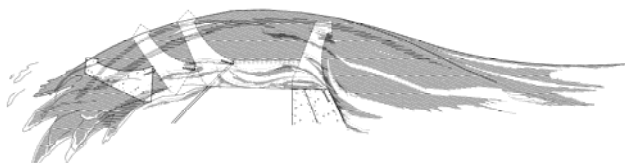
○ 計画を大幅に超える高波による壊滅的被害(H16 台風 23 号、高知県室戸市)

菜生海岸の海岸堤防が 30m 倒壊・流失。3名死亡、4名負傷、13戸被災。



■ 観測史上最大^{※1}の波が来襲し、これまで経験したことのない形態で被災

波圧によりパラペットが滑動し、民家前面付近まで飛散



※1 全国港湾海洋波浪情報網(ナウファス)の観測史上(昭和45年～)で最大
 ※2 有義波高: 波高の大きいものから順番に全波数の1/3を抽出し平均した値

	今 回	全国既往最大
波高 ^{※2}	13.55m	11.37m
観測所	室津波浪観測所 (H16, 10)	御坊沖観測所 (S62, 10)

○ ゼロメートル地帯における大規模な高潮災害(H17 ハリケーン・カトリーナ、米国)

米国ニューオーリンズで大規模な高潮災害。市域の約 7 割がゼロメートル地帯であり、ひとたび高潮災害に襲われると壊滅的打撃を被ることを改めて認識。



進 路: 8月25日にフロリダ半島に上陸・横断し、メキシコ湾に抜け、
 勢力を増した上で、ニューオーリンズ付近の海岸に再上陸
 勢 力: 最大時でカテゴリー5 (風速70m/s～、中心気圧920hPa以下)



街の大通りの
浸水状況



浸水した市街地中心部



破堤箇所

○「ゼロメートル地帯の高潮対策検討会」提言(H18. 1. 17)

1, 300人以上の死者を出した昨年8月のハリケーン・カトリーナによる大規模高潮災害を踏まえ、わが国のゼロメートル地帯の高潮対策のあり方について専門的な見地から検討を行い、提言としてとりまとめ。

ゼロメートル地帯のこれまでの高潮対策と昨今の状況

これまでの高潮対策

- ・三大湾のゼロメートル地帯においては、伊勢湾台風級の台風を想定しハード整備を中心とした高潮対策を展開
- ・伊勢湾台風以後、甚大な災害はなく、高水準の安全性を前提とした経済社会活動が展開している背景を踏まえると、これまでの高潮対策は計画規模と進捗の度合いを総合的に勘案すれば概ね適切

高潮対策を取り巻く昨今の状況

- ・防護施設の老朽化の進行、耐震性の不足
- ・整備水準を超える高潮の発生、高潮と洪水による複合災害の発生の懸念
- ・長期的には地球温暖化による海水面の上昇、台風の強大化の懸念



- ・400万人以上が居住し、わが国の中枢機能を担う三大湾のゼロメートル地帯が一旦大規模浸水したとすれば、社会経済への打撃は膨大
- ・わが国の存立が懸かっているという点で「国土防衛」として認識した危機管理対策が重要

ゼロメートル地帯の今後の高潮対策の基本的方向

- ①これまでの高潮計画に沿って浸水防止に万全の対策を講じるため、防護施設の着実な整備及び信頼性の確保に最も重点を置くもの、
- ②不測の事態に備え大規模な浸水を想定した場合の被害最小化対策を講じること



推進すべき具体的施策の一部（海岸事業に係るもの）

1. これまでの高潮計画に沿って浸水を防止するための万全の対策

◎防護施設の着実な整備

→ 堤防護岸の老朽化・耐震対策

◎防護施設の信頼性の確保

→ 堤防護岸の耐震性、老朽化の再点検／緊急対策が必要な箇所を計画的整備

2. 大規模浸水を想定した被害最小化対策

◎個々の地域の危険度が実感できる情報提供

→ 高潮ハザードマップ作成促進／市街地内での水位情報表示

◎危機管理行動計画の策定

3. 高潮防災知識の蓄積・普及

4. 高潮災害に関する更なる安全に向けての検討課題